

西山形の散歩道

西山形振興会



歴史と文化の里



この地の人々の暮らしは、遠く縄文の時代から神への祈りとともに始まりました。

五穀豊穫を願い、豊作に感謝し皆で酒を酌み交わしては歓喜の叫びをあげたことでしょう。

また、ときとして愛する人、心のよりどころである祈りの場までもすべてを失い悲しみに泣き崩れたことも。

それでも決して怯むことなく、互いを慈しみ、そして支え合い悠久の時を経て今日の安寧があります。

「西山形の散歩道」を片手に、こうした歴史の潮流に思いを馳せながら古人の息づかいとロマンを求め「歴史と文化の里」西山形伝承の地を散策してはいかがでしょうか。

発行編集 / 西山形振興会・文化事業部

山形県山形市柏倉 3776-3 TEL.023-643-3104

協 力 / 西山形郷土史研究会、フォトサークルとかみ

西山形コミュニティセンター

写真協力 / 山形県立博物館、(公財) 山形県埋蔵文化財センター

発 行 日 / 令和5年3月1日 第4改訂版

※このパンフレットは「山形市いきいき地域づくり支援事業」の補助金を受けて西山形地区的市民が作成しました。

史跡は私たちの宝



山形市の西を流れる須川の西岸には縄文から平安に至る古代遺跡があると言われてきました。畑に鍬を入れれば縄文土器が、激しい雨の後には矢ジリや素焼きの壺が出土しました。

また、大之越古墳は山形盆地の古墳誕生年代を一世紀も遡る大発見となりました。

戦国時代には、富神山山麓一帯で最上軍と上杉軍との間で激しい戦いが繰り広げられた「出羽合戦」。

江戸時代の宝暦13年(1763)から下総国佐倉藩城主堀田氏は十一万石の内約四万石の山形分領四十六ヶ村を支配。栄華を極めた柏倉陣屋がありました。

こうして長い年月の間には時として、日本の行く末を大きく左右する激動の渦に巻き込まれたこともありました。人々は、時代の変化に翻弄されようと平穏に暮らしたいと願う一途な思いに、たとえ挫かれようとも知恵と工夫で独自の文化を育んできました。故にロマンに満ちた「歴史と文化の里」と言われる所以です。

先人は、いつの時代も常に夢を抱き、挑戦することをあきらめず、苦難に打ち勝ち今日の古里を築き上げてきました。

魅力あふれる西山形地区の文化遺産をもっと多くの方々に知ってもらいたいとこ「西山形の散歩道」を新たに作成しました。

東京2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会レガシー



山形市は、東京2020オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザ「日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」のプロジェクトに参画し、西山形地区の人たちが地区振興のため、昭和の時代に植林した板橋山市有林のスギ材約42m³を提供しました。

このモニュメントは、プロジェクト参画の証を大会レガシーとして後世に残すため、実際に選手村ビレッジプラザで使用された木材を使って、レシプロカル架構を再現したものです。

レシプロカル架構とは、3本の斜柱をツイストさせた組柱により耐震性を持たせた構

造で、選手村ビレッジプラザで採用された工法です。

3本の柱で屋根を支え合う様子からオリンピック関係者の間では、「絆工法」の愛称で呼ばれています。

雪椿とミズバショウ群



大平地区には、雪椿の群生地があり、春の雪解けが始まると深紅の可憐な花を咲かせます。雪椿は、日本海側の多雪地帯に多く分布し、ここ大平の雪椿が最北の生息地とも言われています。

また、同じ場所では雪椿よりも一足早く純白の愛らしいミズバショウが姿をみせ、雪国に春を告げます。西山形地区では、この魅力ある花を多くの方々に観賞していただこうと、毎年『雪椿観賞会』を開催しています。

見ごろ：例年4月25日頃



地酒【柏倉門伝】 淡麗辛口な味わい

平成17年に地元の有志で結成した「西山形の酒を造る会」が中心となり「地元で収穫された酒米と、地元のうまい水を使って、地元の酒を飲みたい」という想いから生まれました。

酒米は、県産オリジナルの出羽燐燐を使い、米作りは、西山形地区内で栽培し、田植えと稲刈りは地区民をはじめ、県内外から「柏倉門伝」をこよなく愛する会員を中心に行ってています。

また、水は美味しい酒を造る上でもっとも大切なことで、荒沼から湧き出る自然水を同地区の礫石より汲み酒造りは、蔵人として地元民が多数勤めている山形市内の酒蔵に委託。丹精込めて造り上げています。一般的の酒店では販売していないため、入手困難な幻の酒と言われています。

毎年12月中旬に新酒発表会が行われ、その年の出来栄えを堪能できます。

販売：すべて注文による数量限定。申し込みは6月末まで。

価格：750ml×2本入り、4セットで11,000円（消費税込み）



旧双葉小地域活性化の拠点



眼下に山形市街地を一望でき、日が落ちれば美しい夜景、夜空を見上げれば満点の星。晩秋の朝は雲海が広がるまさに天空の学び舎でした。

2012年3月、学童数の減少に伴い惜しまれつつ閉校に。立派な校舎は以前のま

ま。この校舎を拠点に活気あふれる双葉地域の再生を図ろうと卒業生と地域の人々が特色のあるイベントを企画。手打ちそばを味わえる「そば道場」、ロビーでの楽しいおしゃべり、体育館とグラウンド（グラウンドゴルフ）も一般に開放する「オープンディ」を開催しています。ドライブやロードバイクの方も気軽に利用できます。

旧双葉小学校オープンディ（毎月第2・第4日曜日とその前の土曜日）

そば道場と体育館・グラウンドゴルフ一般開放

手打ちそば：一人前800円（第4日曜日）

○お問合せ先：西山形コミュニティセンター Tel.023-643-3104

※イベントについては、令和4年度に実施された内容です。



山形西公園



平成17年4月3日に開園。二酸化炭素を吸収・固定するという緑の働きに着目し、地球温暖化防止に貢献する緑豊かな公園として整備。広さは15.6ha、東京ドーム3個分に相当します。

園内には、屋内多目的コート、テニスコート、遊びの森、足湯エリア、キャンプ場、いも煮広場、パークセンター、ジョギングコースも併設。朝夕などはランナーや犬の散歩をする人々で賑わい山形市民の憩いの場として愛されています。

開園時間 9時～22時

休園 12月29日～1月3日（年末年始）

駐車台数 450台



08 水方不動尊

不動尊は、昔から不動明王とも呼ばれ民衆の信仰を集めてきました。火船を背にして右手に剣を持ち誓願によって素生と苦楽を共にすると言われて来ました。参道脇の社務所に「ノーマクサンマンダー」の筆書きがあります。不動明王をいう梵語でこれを唱えて祈れば靈験あらたか、病氣平癒、特に眼病に効くと言われています。

文政12年、柏倉陣屋「御典医」の中村文哉が同家に安置していた不動尊の古い木像を村民の信仰と病氣平癒のため、この水方の地に遷座を発願したと伝えられています。



10 七森山 明源寺 (真宗大谷派)

寛永元年(1624)、真宗の僧・明源和尚が開祖。明源寺には毘沙門堂が祀られていますが、これは源頼朝の臣下で御家人となった安達藤九郎盛長が寺山に建てたもの。後にこの寺山から毘沙門堂を移し、明源寺境内に再建しました。

明源寺は柏倉陣屋の堀田家とゆかり深く元禄の時代に隆盛を極めています。



12 お明神様 (富神明神社)

富神山の神を奉っているのですが、由緒は何一つ分かっていません。

ただ、圃場整備の時、偶然に縄文の遺跡が見つかり「おみんつあま」の一帯には昭和52年、縄文遺跡という名前がつけられました。調査の結果、ストーンサークル(環状列石)が直径40メートルの大きさで「おみんつあま」を囲んでいるのが分かりました。

富神山の神を奉っていることと、ストーンサークルを合わせると、ここは縄文の時代から山ノ神を奉る「祭りの場」だったのではと言われています。



14 つぶて石

今は昔、仙台市の近くに力持ちの大男がいました。その男は、大きな石を肩に担ぐと掛け声勇ましく山寺めがけ大石を投げ飛ばしました。すると大石は空高く舞い上がり山寺へ落ちるどころか、山形の町を超え、西にひときわ高くそびえる白鷹山の中腹に「ドッスン」と大きな音を立てて落ちました。山は大きくゆれ動き大騒ぎになつたそうです。その石がここに残る「つぶて石」です。この話の力持ちの大男とは、源氏再興に寄与した朝比奈三郎義秀だとと言われています。※古代つぶて石は、「戦争の道具」として使用されました。



09 皆龍寺(真宗大谷派)

創建開基は源道親とその長男と言われています。美濃の国から門伝にやって来て切神(富神山山麓東)に「五福院」を建てたのが始まりです。五福院は地福寺の末寺として草庵を建てたのが皆龍寺の前身であると伝えられています。その後、出羽合戦で戦火に遭い、門伝に移りました。

キリスト教弾圧があった江戸時代にバテレン(キリスト教の司祭)イルマン(宣教師)を弔ったと言われています。



11 山王の常夜燈

夜の狐越え街道を安全に通れるよう設置されたもので、現在の街灯の役目を果たしていました。

狐越え街道は、上町から門伝、山王、七ツ松、荻の窪、大平通り荒砥に至る白鷹山超えの道です。旧狐越え街道は、山王川の川沿い近くを通るルートでしたが明治20年、旧道よりも山側の中腹を通る街道に全面改修されました。明治33年になって旧街道にあった常夜燈、庚申塔、山の神を奉る石碑が運び上げられ、街道を通る旅人の安全を守っていました。



13 八坂神社 (牛頭天王)

「柏倉門伝記」に「八坂神社ハ大字門伝中ニアリ素戔嗚尊ヲ祠ル。元牛頭天王ト稱シ富山ノ東麓字切神ニ鎮座マシシ今尚其ノ舊趾ニ萬年塔ヲ存ス」とあります。

牛頭天王は「医王」とされ、薬師如来の化身と言われています。

慶長5年の出羽合戦の時、最上家臣団の一人者で門伝惣主として陣を築いた武将伊良尾弾正は、牛頭天王を楯の守護神として奉りました。また、この合戦により神社は消失。村民挙げて現在の門伝地内に再建、同時に八坂神社も当所に遷座されたと伝えられています。



15 仁田の沢 阿弥陀堂

仁田の沢への上り口には仁王坂という名の急な山道があります。ここからつづら折りの道を辿ると阿弥陀堂に至ります。言い伝えによると阿弥陀堂は奥の院でその下にも寺があったとのこと。寺の名は分かりませんが、周辺には新庄寺などの字名もあって、周囲一帯の山々が山岳信仰の聖地だったと推測できます。「さくらんご森」や「さいご坂」という名で呼ばれる場所が阿弥陀堂の北と東にあって、東の竜山の僧兵と争い、阿弥陀堂勢が敗れたという話もあります。



01 柏倉陣屋跡

旧山形市西部児童館周辺

延享4年(1747)から廃藩置県が敷かれた明治4年(1871)までの125年間この地に置かれ、堀田家(佐倉藩下総國)が108年間を治めました。

陣屋には、藩学北庠が建てられ陣屋に仕える武士の子弟や多くの村人も学問を習いました。

また、陣屋近くには種痘所が建てられ、当時の先端医療だったオランダ医学を導入し疱瘡から多くの子供の命が救われました。



03 大之越古墳

圃場整備の工事中に偶然発見され、2つの石棺を有し環頭大刀、直刃、鉄劍、馬具など多くの副葬品が出土しました。

中でも単鳳文環頭太刀(長さ95センチ)は、韓国・百濟の武寧王陵(古墳)から出土したものと似ており、西暦5世紀に造られたと推測されます。

また、これらの副葬品から山形盆地を支配した首長の墓と考えられています。

出土品は、山形県指定文化財となり、山形県立博物館に展示されています。



02 安達藤九郎盛長碑 柏蔵院跡

安達藤九郎盛長は、鎌倉幕府の創建にかかり後家人として「源頼朝」を支えました。治承2年(1178)山寺立石寺で源氏再興を毘沙門天に祈ったところ、毘沙門天が夢枕に現れ「南西の方角にひこばえ杉が生えている山がある。そこに一宇の坊舎を建立し祈願すれば願いは叶うだろう」と告げられました。夢にさとされ辿り着いた場所が寺山でした。この寺山に真妙寺を建立。毘沙門天を奉るお堂も建てました。

その後、毘沙門天は柏倉中丁の明源寺に移設、今も奉られています。



04 七松山地福寺(真言宗)・ 七ツ松觀音堂

村山盆地を挟み、東の藏王山が天台宗の宗教拠点だったのに対し西の白鷹山系は真言宗の栄えた地帯だったと言われています。七松山地福寺は、行基が天平5年に開いたとされる古刹で真言宗の醍醐派を守っています。七ツ松觀音堂に奉られている十一面觀音は行基作と伝えられ信仰を集めています。鬱蒼とした杉木立の境内は聖地と呼ぶに相応しい佇まいで人々を迎えてくれます。



05 柏倉八幡神社

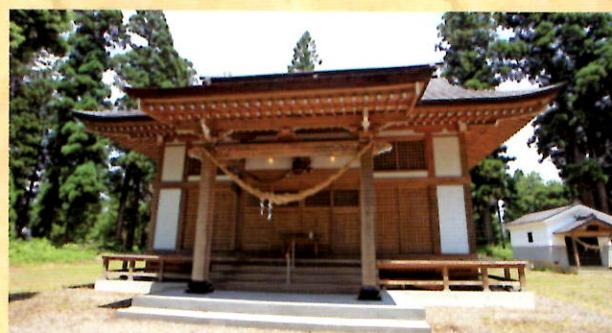
境内から、旧石器時代(約1万2千年前)の石斧が出土。山形市最古の住民遺物とされています。地形的にも古代から聖地として崇められ、後に八幡神が祀られたと考えられ、由緒は康平6年(1063)源義家の創建とあります。

慶長5年の出羽合戦で戦火に遭い、社は全焼したが平安末期に造られたとされる「女神像」は焼失を免れました。【女神像:山形市指定文化財】

その後、最上義光公により社は再建。社領360石を献じたとされ、正月田から12月田、他にも御供田が確認されています。このような御供田を持つ神社は、県内に3社だけで有数の古社であることを示しています。

再建から約400年後の平成24年5月7日の未明、社は再び全焼。この時も女神像は焼失すること無く、地区民の熱意により社は平成27年11月30日に完成しました。

なお、鉄砲町八幡神社は当神社から御分霊されたと古書に記されています。



06 出羽合戦跡

富山周辺で繰り広げられた出羽合戦は、北の関ヶ原とも言われました。慶長5年、攻めてきたのは石田三成についた上杉軍の直江兼続。迎え撃ったのは徳川家康側の最上義光。長谷堂城攻略中に石田三成敗北の知らせを受け、退却を始めた上杉軍。それを追撃する最上軍に伊達軍が援軍として加わり富山山麓及びその周辺では激しい戦闘が2日間続き両軍ともに多くの兵が命を落としました。

最上義光の兜に見られる弾丸の跡は、この戦いで受けたと言われています。



07 作翁山長泉寺(曹洞宗)

大正14年まで「長泉寺の焼け鐘」という梵鐘がありました。

この鐘は、かつて山形市東原のもみじ公園にあった宝憧寺(廢寺)から長泉寺に移されました。その後この鐘は国宝に指定され、現在は埼玉県深谷市の寺で保存されています。同型の鐘は山形市専称寺にもあります。

富山山麓の作翁山觀音は長泉寺が建立しました。



